

令和元年度 ニシン漁獲物調査速報（号外2）

1～3月に実施しているニシン漁獲物調査の結果を随時お知らせしています。

3月26日と27日に石狩地区と厚田地区において石狩湾漁協青年部が実施した「ニシン漁期終了後試験調査」の結果をとりまとめました。調査では6種の日合（1.6寸、1.8寸、2.0寸、2.1寸、2.2寸、2.3寸）を用いてニシンの試験操業を行いました。

【結果】

採集状況（表1）

今年度も両地区ともに多くのニシンが採集され、3月下旬にも順調に産卵が行われているものと思われます。漁獲量は、石狩地区では1.6寸目が最も多く、厚田地区では2.1～2.3寸目で同程度でした。

表1 採集物の内訳

	目合	1.6寸	1.8寸	2.0寸	2.1寸	2.2寸	2.3寸	合計
石狩地区	漁獲重量(kg)	50	20	34	30	27	21	183
	漁獲尾数	271	93	131	108	94	70	767
	3月26日 平均尾又長(mm)	258	276	289	289	294	297	278
	平均体重(g)	184	217	261	277	290	306	238
厚田地区	漁獲重量(kg)	-	-	-	1,583	1,583	1,583	4,750
	漁獲尾数	-	-	-	5,979	5,642	5,447	17,068
	3月27日 平均尾又長(mm)	-	-	-	289	294	297	293
	平均体重(g)	-	-	-	265	281	291	278

魚体と年齢（図1、2）

漁獲の中心となったのは4年魚（2016年級）で、次いで3年魚（2017年級）と5年魚（2015年級）が多く漁獲されました（図1）。4年魚（2016年級）は今漁期の主体として序盤から終盤まで漁獲を支えた年級ですが、漁期が終了した現在も多くが産卵来遊しているようです。また、これらに加え石狩地区では2年魚（2018年級）も20cm台前半のサイズで来遊していました。

また、漁期中の漁獲物（図2、3月9日の厚田地区）と比べると、漁期中には30cm未満のニシン（2年魚、3年魚に加え4年魚も）はあまり漁獲されていませんが、今回の調査では、これらのニシンも多く採集されており、多くが取り残されたと考えられます。

成熟状態

漁獲物の成熟状態は、雌雄とも完熟個体がほとんどを占めていましたが、ヌケ（産卵後）個体も一部混ざっていました。従って、4月に入っても、しばらく産卵来遊が続く可能性があります。

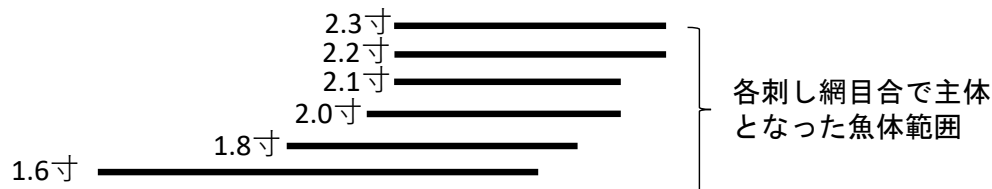
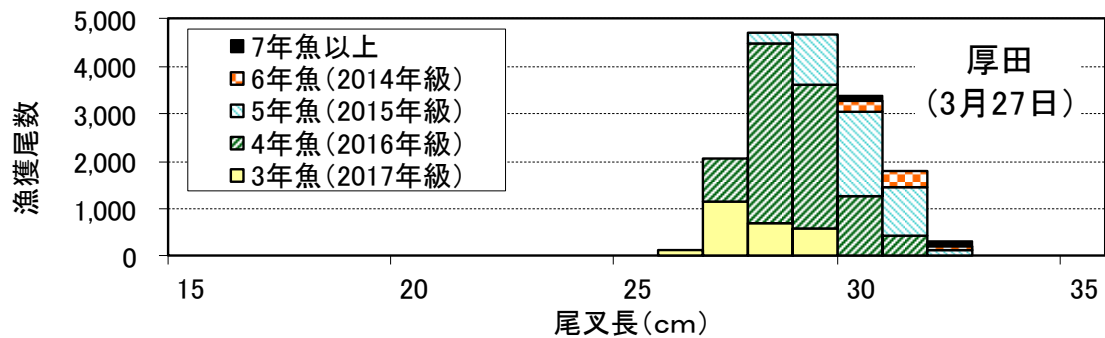
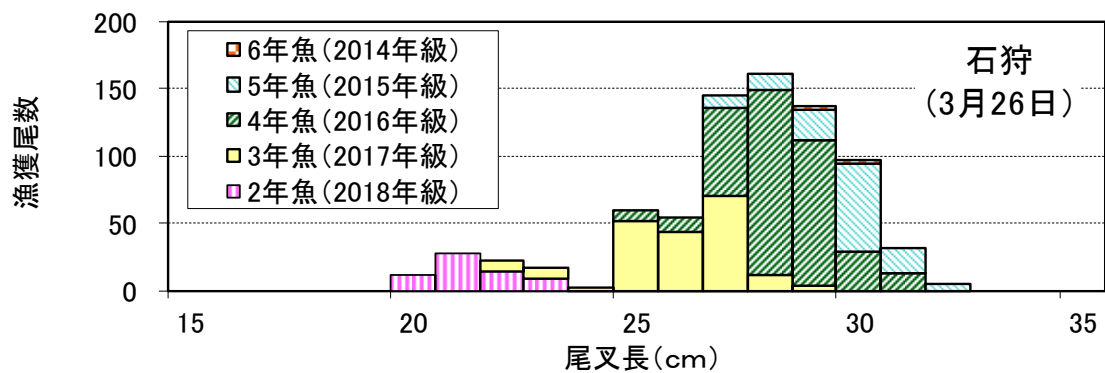


図1 令和2年3月26、27日 石狩・厚田地区 年齢別尾叉長組成

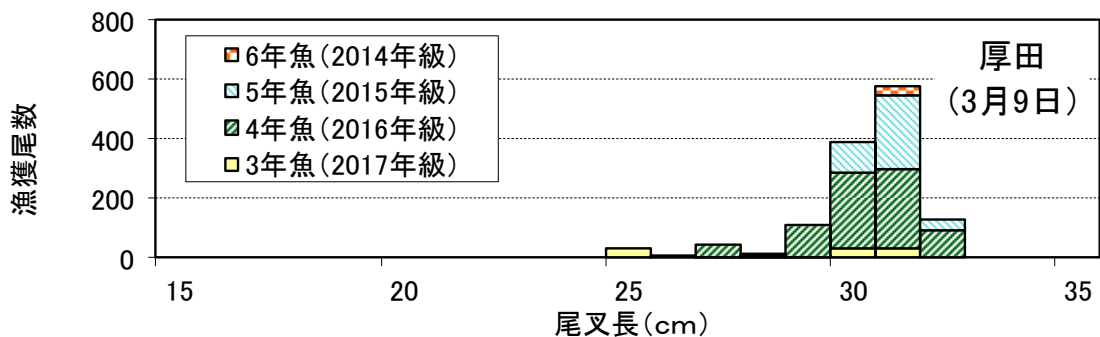


図2 令和2年3月9日 厚田地区 年齢別尾叉長組成

まとめ

今回の漁期後調査から、現在の網目規制（2.0寸以上）と操業の早期切り上げによって2年魚（2018年級）、3年魚（2017年級）、および4年魚（2016年級）の多くが次年度以降の資源として獲り残されると同時に、産卵親魚の保護と次世代の再生産につながったと考えられます。

来年は2016年級が5年魚として漁期前半の主体に、2017年級が4年魚として盛漁期の主体となって来遊すると考えられます。さらに、今年生み出された2020年級についても相当の産卵量になっていると推察され、6月の稚魚調査での出現状況を注視していきたいと思ひます。